

桃山建築と縁側・回廊空間

園城寺光浄院客殿



回廊に関する意見

外回廊の設置による外部空間の取り込みには**大賛成**です。

回廊と柱間は広い空間の**ユーティリティ**をあげるのも良いかと思いました。全体のコンセプトも良いと思うので**より洗練**されていくといいと思います。

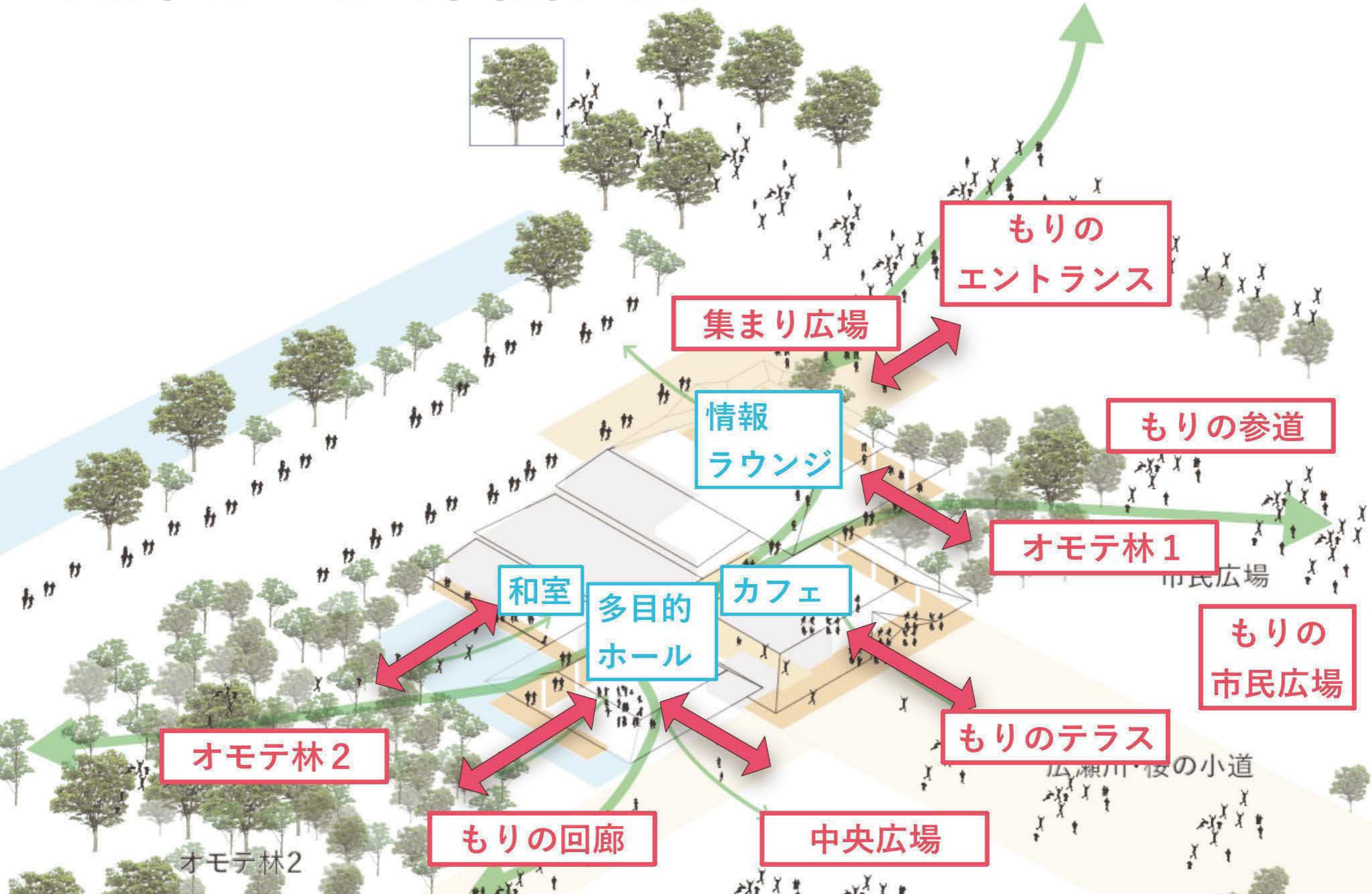
回廊は良いと思った。ただ、各部屋と回廊と外の広場と具体的な**アクティビティがダイナミックにつながり**、それぞれの場が意味をもってそれに沿ってしつらえが決まるというふうにつめられると良いのでは？

和建築の回廊がほしかったので小十郎住居的回廊はナイスでした。ただ今のままだと**ただの外廊下的なイメージ**かも？

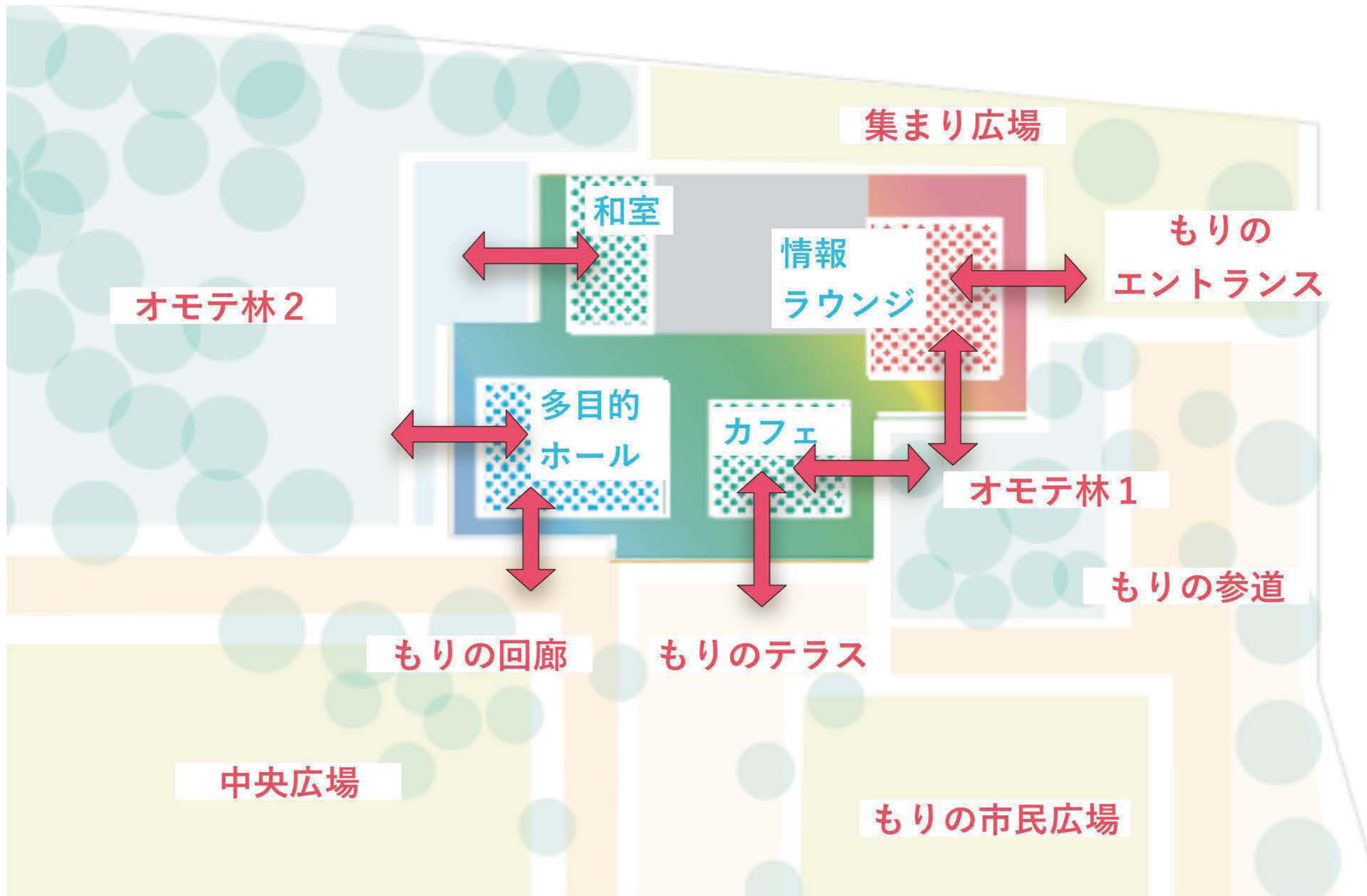
日本建築のエッセンスを取り入れた「回廊」「縁側」のデザインがとても良いと思います！！

広い軒下、いいですね。外と内の中間の空間があるのは魅力的です。屋外から使えるトイレ、ロッカーも良いと思いました。全体的に「**やりたいこと**」が**どんどんみえてくる（引き出す）空間**になっていて素晴らしいなと思いました。時代に合わせて使いやすい空間となるように、**フレキシビリティを大切に**していただけると良いかと思います。

内外をつなぐ回廊空間



内外をつなぐ回廊空間

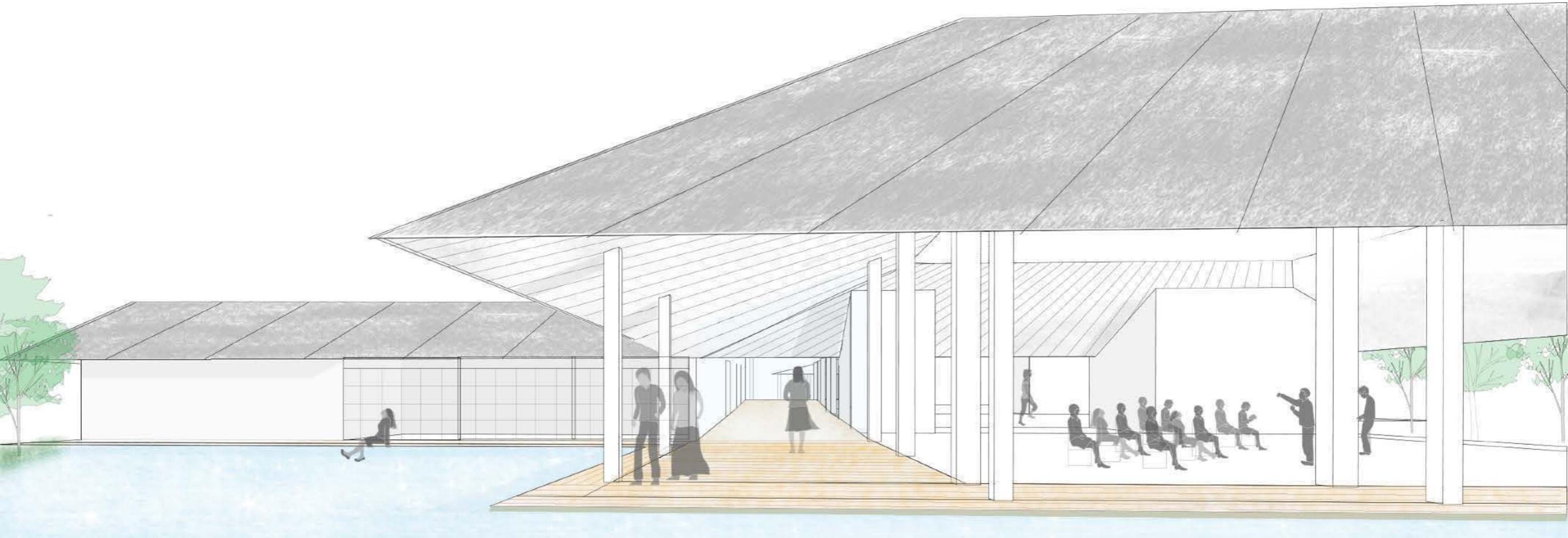


内外をつなぐ回廊空間



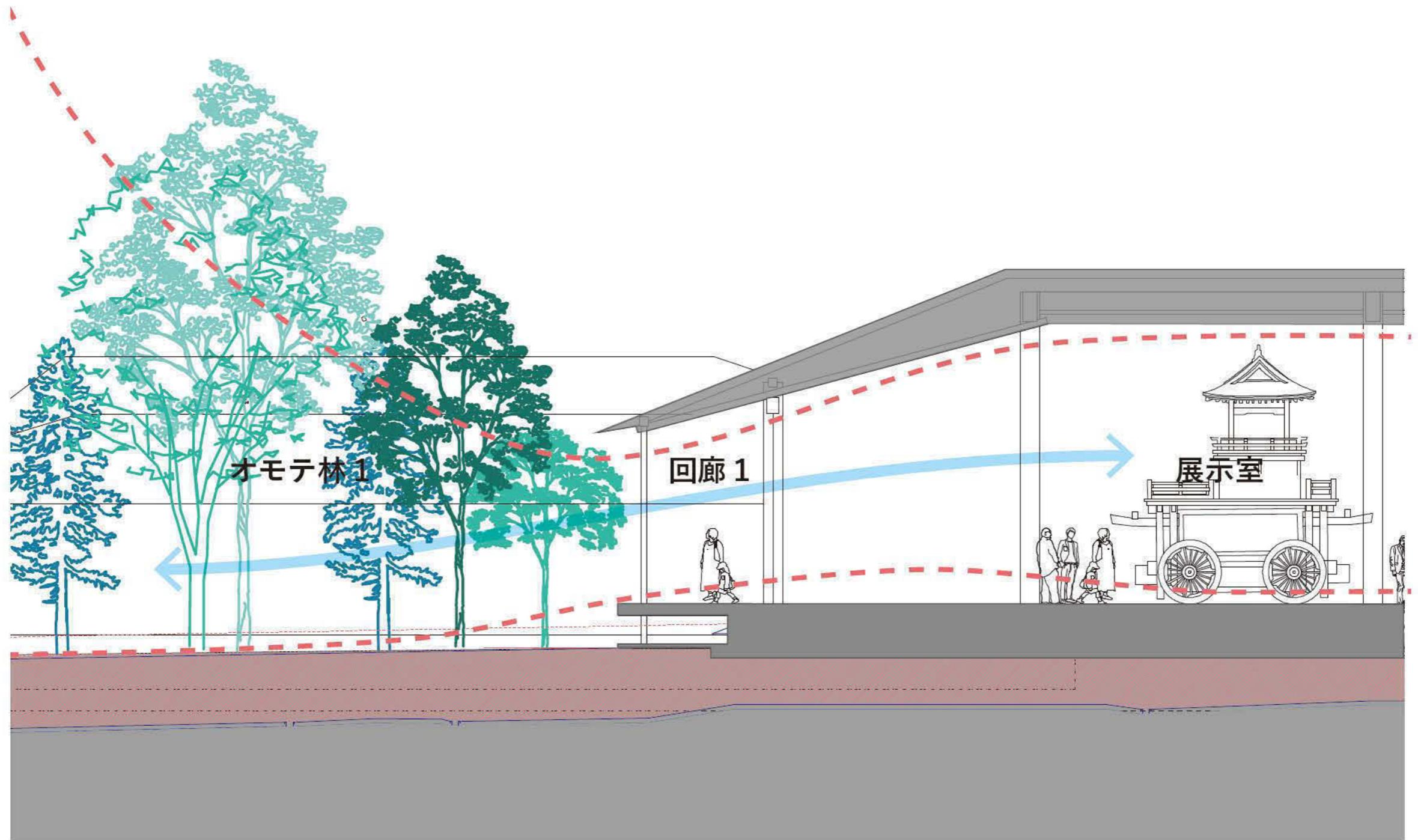
展示室からライブラリーを見る

内外をつなぐ回廊空間



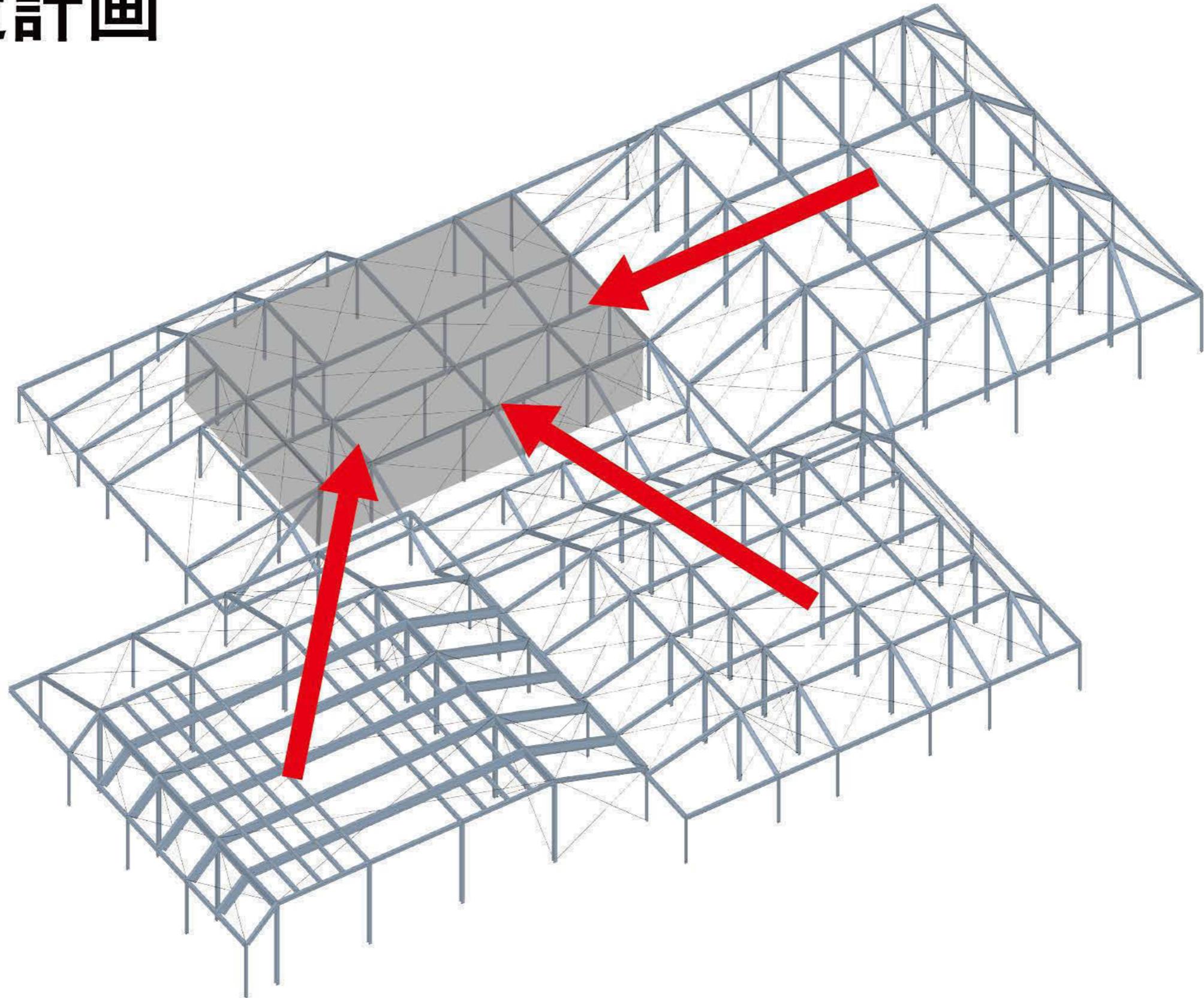
南側より建物を見る

内外をつなぐ回廊空間



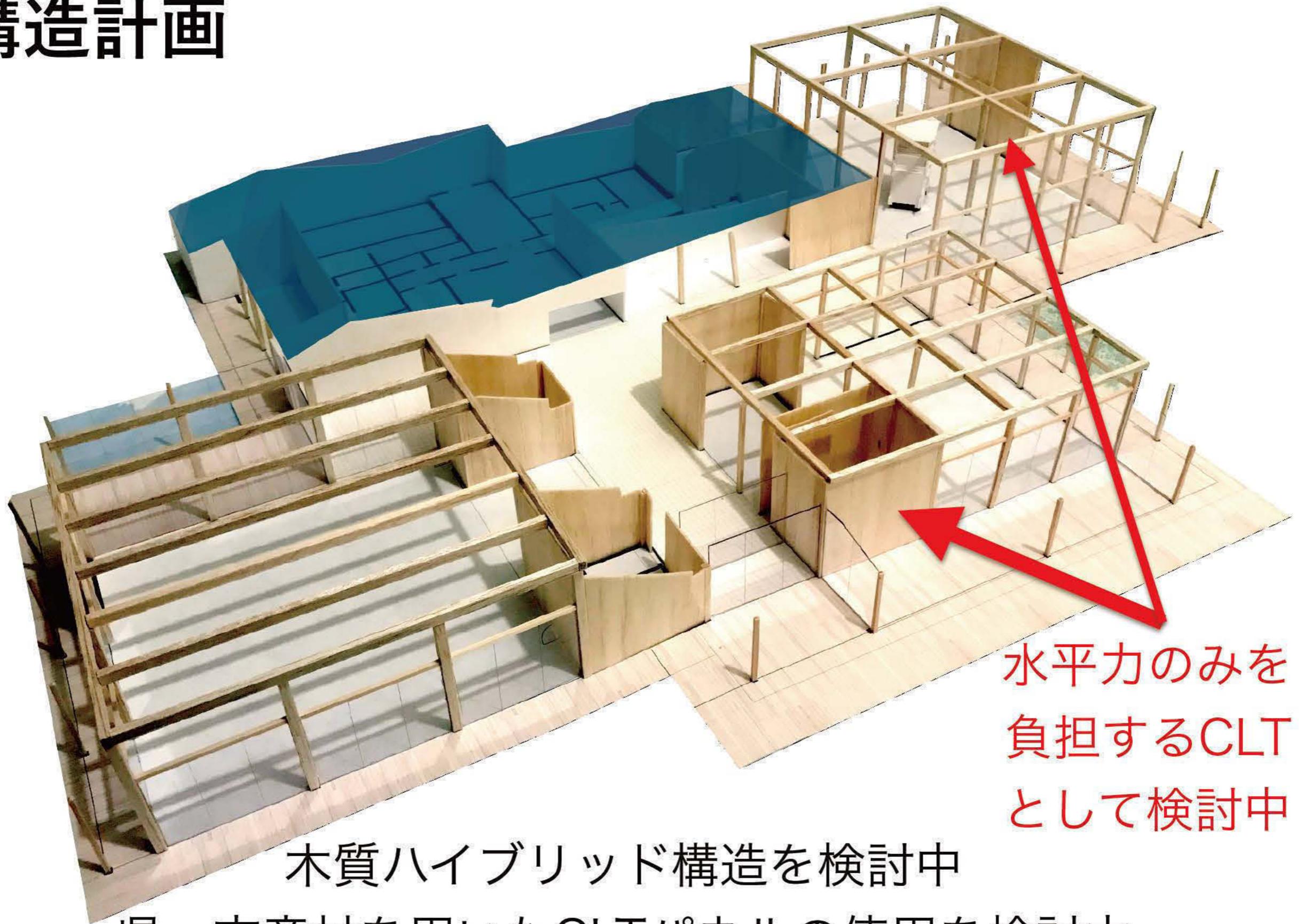
フロアレベルと地形造成

構造計画



屋根面で水平構面をつくり構造コアへ水平力を伝達

構造計画



水平力のみを
負担するCLT
として検討中

木質ハイブリッド構造を検討中

県・市産材を用いたCLTパネルの使用を検討中

意匠計画 インテリア・建具・装飾など

1 伊達な文化

2 可変性

3 開放性

4 自然が感じられる居心地

デザインレビュー2

歴史・文化をつなぐ場所

PLACE × MAKING

何度でも訪れたいくなる場所

「もり」のある風景をつくる

藩政時代の自然環境



自然環境に関する意見

モミ、トチ、桜などオモテ林の1と2を植樹でつなぐ。スギ、モミ、トチ、桜など外国の公園のように自然体でのばす。剪定しないで**青葉山と一体化**。

ここは自然の延長ではなく、お城の景観的に**寺社や皇居前広場イメージ**で。

公園内に森があるのがよい

この地は我が国の固有種で**ニホンリス**の生息地です。樹上性のリスですから枝から枝へ移動して生活しています。森のテラスで市民県民観光者皆でたわむれ

オモテ林の発想は良いと思いました。自然植生を考慮した**管理可能な林**ができれば日本庭園も視野に。

周りにあれほど自然の木があるのにここまで建物周りに木をつくる必要があるのか？
+ αの要素の体験が（空間体験）が必要では。

御裏林の実際の姿とデザイン画でイメージされている「オモテ林2」の姿との間に大きなギャップを感じます。本当に御裏林を再現するつもりであれば最低でも**20年位の計画を立てて**苗木の選定には慎重になってほしいものです

日本の代表的な植物と思います。

是非桜のみならず**もみじ**等も考えていただき、自然環境保存の大切さを痛感いたします。

もりのある風景をつくる

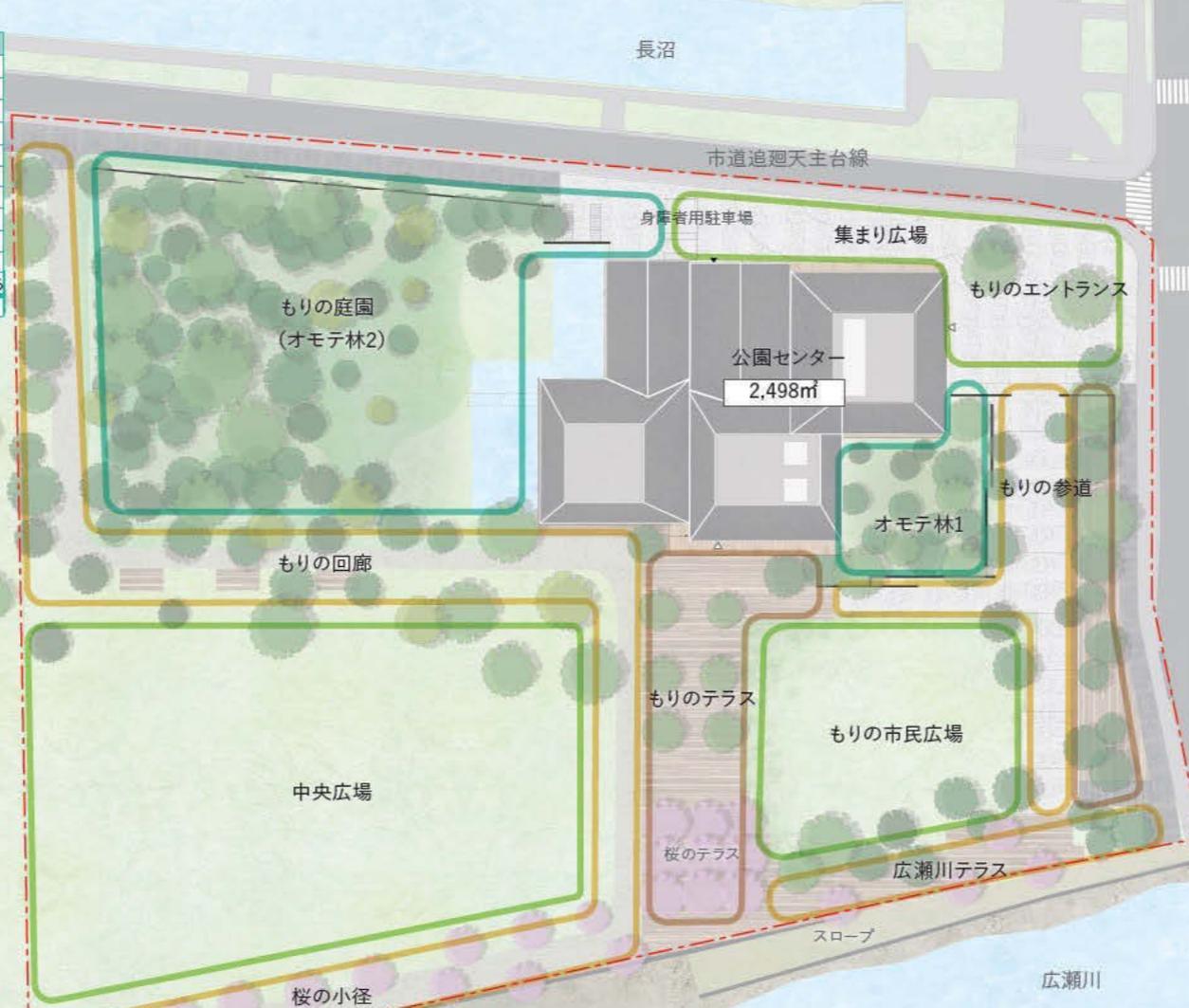


もりのある風景をつくる

2 全体計画(ランドスケープ計画)

プランは検討中のため変更の可能性があります。

| 広場名 | 面積 (㎡) | 主な特徴 |
|--------------|----------|-------------------|
| 1 集まり広場 | 2,160 | 観光バス停留・身障者用駐車場3台 |
| 2 公園センター | 2,498 | 観光・カフェ・市民活動機能を集約 |
| 3 もりの参道(デッキ) | 619 | 市道からアクセス可能な段々デッキ |
| 4 もりの参道(舗装) | 733 | 公園センターと大橋を繋ぐ道 |
| 5 オモテ林1 | 893 | 市道からの騒音を遮る |
| 6 市民広場 | 2,033 | 多目的な市民活動のスペース |
| 7 もりのテラス | 1,412 | 広瀬川に向かって段々にくだる |
| 8 広瀬川テラス | 658 | 広瀬川へのアクセスの緩衝空間 |
| 9 中央広場 | 7,561 | 広々とした芝生広場 |
| 10 もりの庭園 | 5,109 | 御裏林を想起させる庭園 |
| 11 もりの回廊 | 1,809 | もりの庭園と中央広場の緩衝帯となる |
| 合計 | 約 25,487 | |



7 集まり広場、もりのエントランス
 武家屋敷の前庭を意識したスケールで公園センター建築へのメインアプローチとなる。
 江戸屋敷の庭石などを活用する。
 団体バス乗降場、集合場所、身障者用駐車場、駐輪場など、機能的なアプローチをコンパクトに集約し、大橋からの景観を守る。

新 もりの参道
 市道青葉山線に沿って様々なアクセスを受け止めるアプローチ空間。森のエントランスへむけて軸線を通し、歴史文化的な佇まいをつくる。
 イベント時には屋台など並べた賑わいのある使い方も可能。

8 オモテ林1
 仙台城下の屋敷林(イグネ)をイメージした庭園。公園センターを訪れた人々を迎える庭園として、また建築の屋根並みとともに武家屋敷の佇まいをイメージさせる樹種構成とする。
 城下町の屋敷、追廻住宅の記憶を受け継ぎ、実のなる樹種なども積極的に使用する。

9 もりの市民広場
 50m×40mの芝生広場。多様な市民活動やイベントに利用しやすい広場。
 もりの参道と隣接し、一体利用により活用の幅が広がる。

15 全体、景観、その他
 ・大橋からの景観:前景に広瀬川テラス(石垣を際立たせる)、中景に市民広場での活動、その奥にオモテ林1<屋敷林>と建築の折り重なる屋根。
 ・オモテ林1<屋敷林>を縁取る白い壁に沿って森の参道を設ける。江戸屋敷の庭園に使用されていた石などを使用する。
 ・オモテ林1(屋敷森)~オモテ林2(もりの庭園)へ、建物と交差して連続する緑は、第2の杜(都市の自然)~第1の森(青葉山の自然)への変化を表現する庭園。

14 もりの庭園(オモテ林2)
 建物(回廊)の際は屋内に冬季の陽光を呼び込む水盤(池)とし、広がりのある州浜から次第に密度の高い森へと変化していき、季節ごとの変化を静かに楽しめる空間となる。

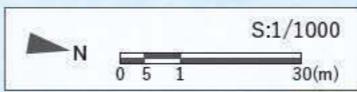
14' もりの回廊
 桜の小径、中央広場から巽門、復元堀方向へつながる動線となる。
 緊急車両、搬入路となる他、広場の芝を傷めずに乗馬などのイベントにも対応。

13 桜の小径
 川沿いの散策を楽しめる小径とする。
 石垣や既存の果樹などを保存・保護しつつ、桜以外の樹種も検討する。

12 中央広場
 周囲に微地形を持った広大な広場で子どもから大人まで自由な発想で利用できる。
 森の回廊との境界部分に緑陰部分と滞留空間(ベンチ・パーゴラなど)を設け、広場を見守れるスペースをつくる。
 もりのテラスと一体活用でイベントなどにも対応。

11 もりのテラス
 公園センターの建物と広瀬川をつなぐ多目的なテラス。
 公園センターの建物と広瀬川をつなぐ多目的なテラス。緑陰と滞留空間(ベンチ・パーゴラなど)、川に近い部分に「桜のテラス」を設け、電源等を設置。花見イベントなどの核となる。

10 広瀬川テラス
 大橋からの景観構成において前景をなす重要な空間。広瀬川の石垣が際立つデザインとする。
 滞留空間(ベンチ・パーゴラなど)を設置し、大橋を渡って最初のもてなし空間とする。



大橋からの景観



もりのある風景をつくる

市道追廻天主台線

身障者用駐車場

集まり広場

もりの庭園
(オモテ林2)

もりのエントランス

公園センター
2,498m²

市道青葉山線

もりの参道

オモテ林1

もりの回廊

もりのテラス

もりの市民広場

中央広場

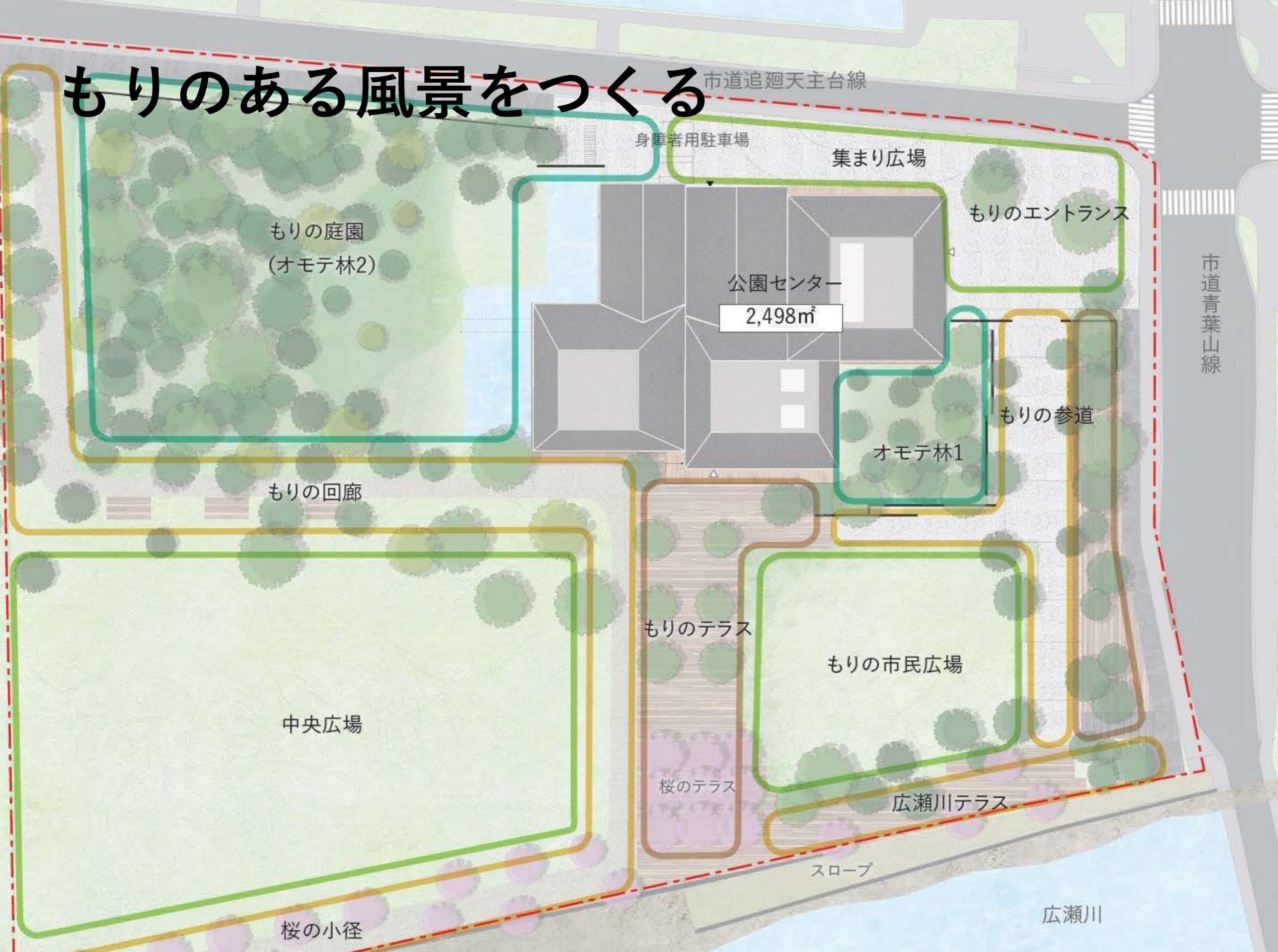
桜のテラス

広瀬川テラス

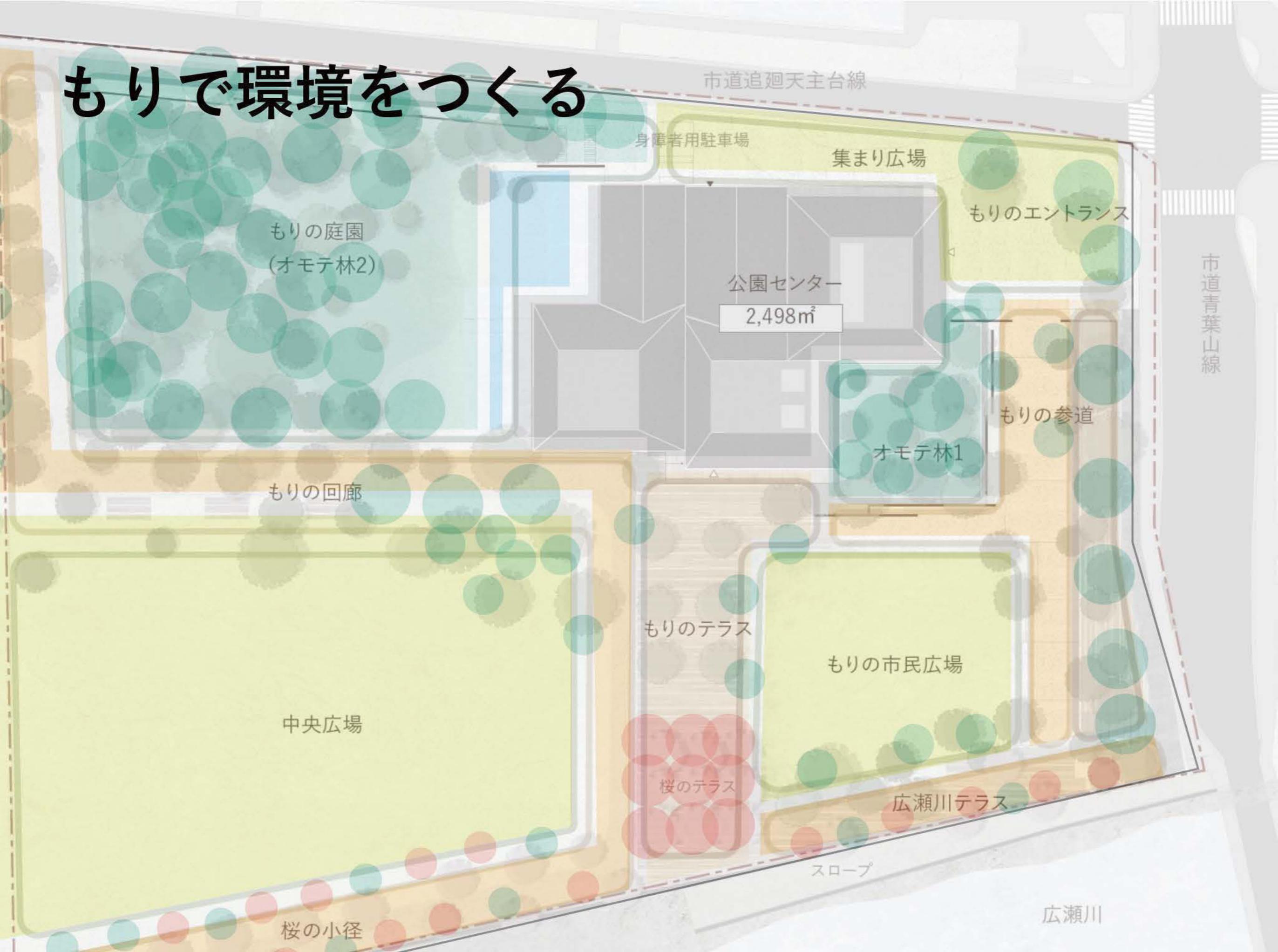
スロープ

桜の小径

広瀬川



もりで環境をつくる



市道追廻天主台線

身障者用駐車場

集まり広場

もりのエントランス

もりの庭園
(オモテ林2)

公園センター
2,498m²

オモテ林1

もりの参道

もりの回廊

もりのテラス

もりの市民広場

中央広場

桜のテラス

広瀬川テラス

スロープ

市道青葉山線

桜の小径

広瀬川

もりで環境をつくる

夏の公園センター

厳しい陽を和らげ

木漏れ日に包まれる

森の庭園

南風を冷やす池

室内を縫うように流れる

穏やかな風

足元涼しく

床吹出し冷房

広瀬川からの冷涼な南風を建物へ導く



冬の公園センター

午後の陽が差し込み

明るく暖かい

午後のテラス

池が陽を反射して

ホールや茶室をやさしく照らす

足元から暖かい

床吹出し暖房

オモテ林は北風を防ぐ

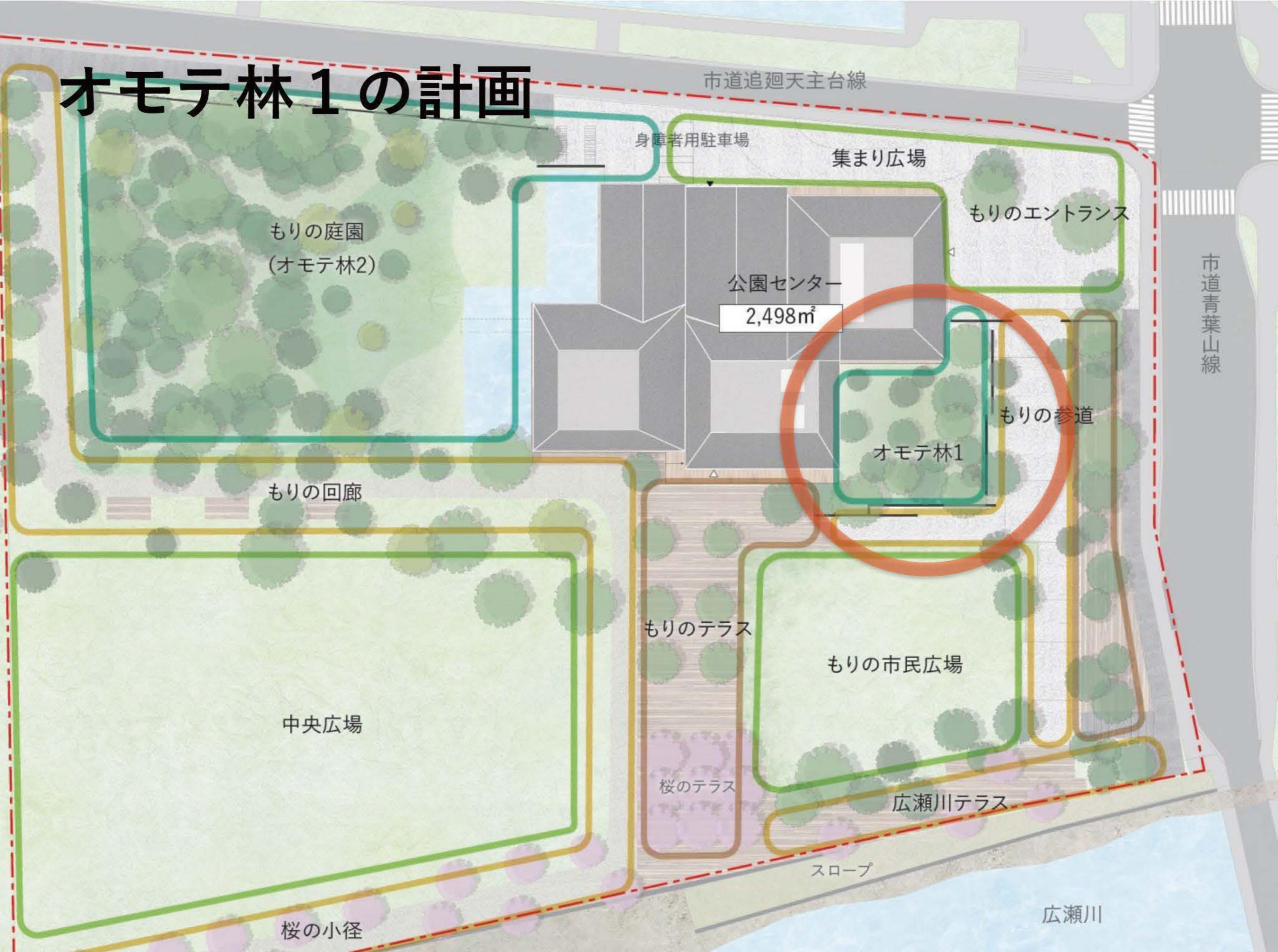
防風林

朝の陽が差し込み

明るく暖かい **朝のテラス**



オモテ林 1 の計画



市道追廻天主台線

身障者用駐車場

集まり広場

もりの庭園
(オモテ林2)

もりのエントランス

公園センター
2,498m²

市道青葉山線

もりの参道

オモテ林1

もりの回廊

もりのテラス

もりの市民広場

中央広場

桜のテラス

広瀬川テラス

スロープ

桜の小径

広瀬川

オモテ林 1 に関する意見

市民が参加できるフラワーウォール

(チューリップやスイートピー) やモニュメント作りがしたい。華やかに

森ではなく杜の再生をしてほしい!

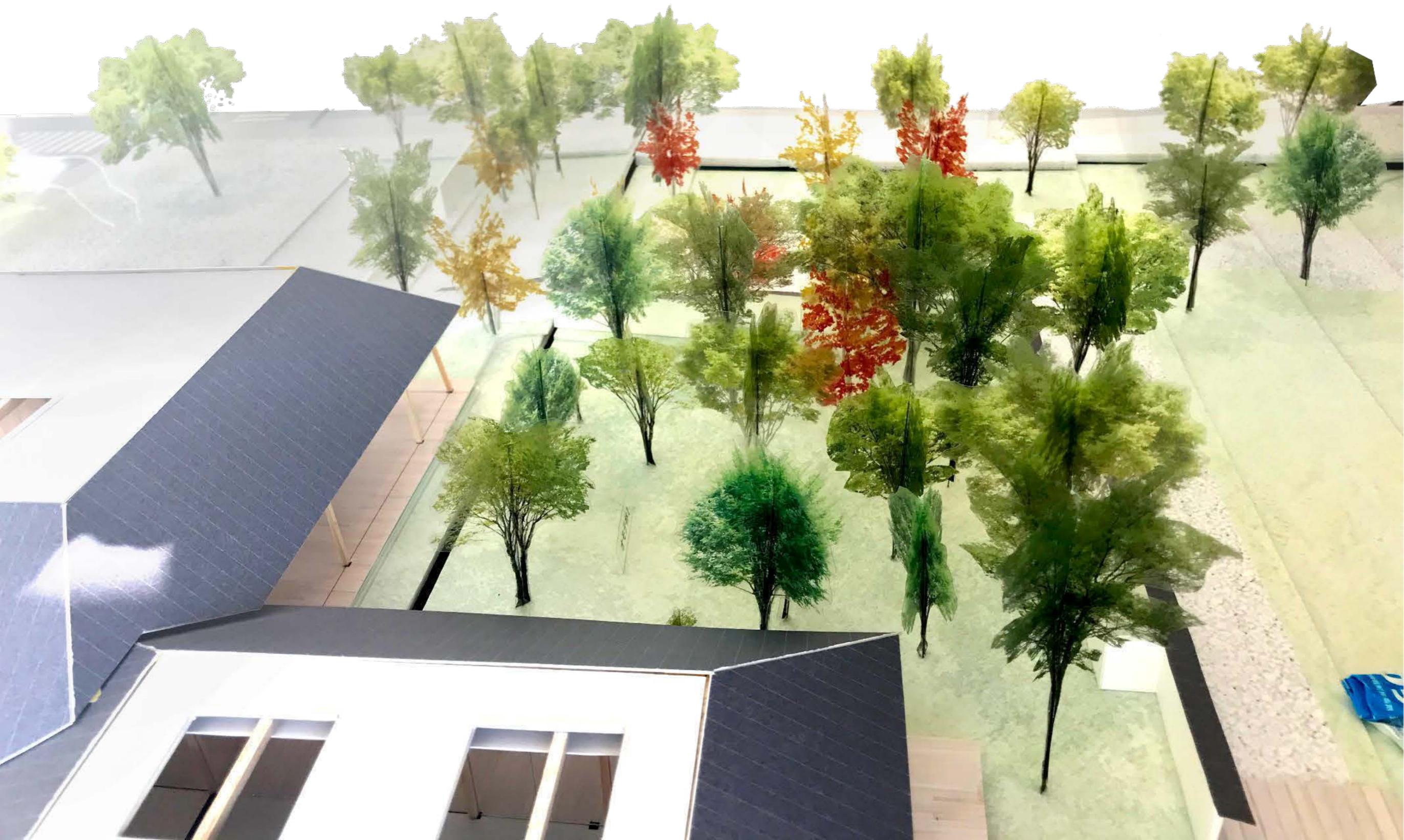
オモテ林1は、青葉山の原生林に近づけるとのことなので、かなり**長い年月**がかかるとは思います。コンセプトはよいと思いますが、しかし、仙台市基準の土壌改良ですと、健やかに成長するか疑問です。オモテ林の植栽の際には林全体の**土壌改良が必要**になると思います。

周りにあれほど自然の木があるのにここまで建物周りに木をつくる必要があるのか?

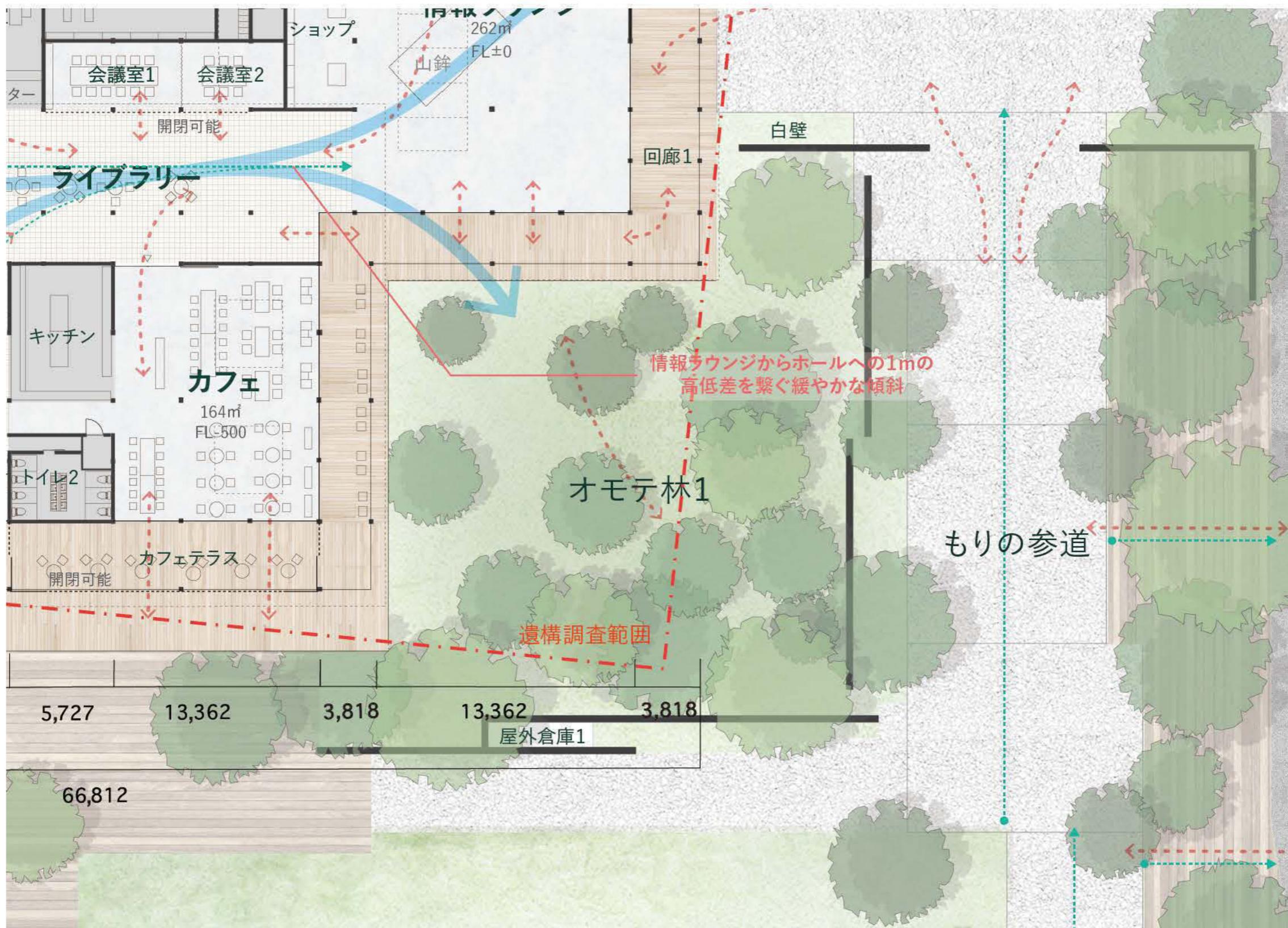
+ α の要素の体験が(空間体験)が必要では。

子供達が青葉山や野山に興味を持って実際に接する**きっかけ**になればいいと思います。地理的な特徴や歴史的な制限もあると思いますが、これから公園を使う**若い人**や、なにより**地元に住む人々**が頻繁に利用しつづけていくことを念頭に議論していただ

オモテ林 1 の計画



オモテ林 1 の計画



オモテ林 1 の計画

空間・植栽のイメージ



活動・使い方のイメージ



オモテ林 1 とカフェ

